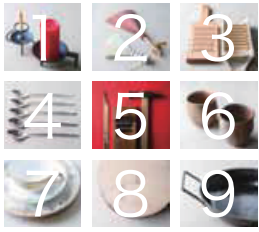


人を惹きつけるものには物語があります。



- 「古事記」に伝わるヤマタノオロチ退治伝説の奥出雲では、古くから製鉄の技術が発達し、「たたら」と呼ばれる鍛冶業の技術に、刀剣製法の技術を取り入れて鉄工芸品を作り続けている：高橋義一作ロウソク立て
- 1818年、京都の三条大橋のすぐそばで、シュロ等で作られたホウキやタワシ等を商う内藤商店が開業した年です。内藤商店では対面販売を重視するという観点から、百貨店などへの出張販売をしない、つまり内藤商店の商品は内藤商店でしか買えません。使ってみて初めて分かるもの、すべては「モノが語る」のです。作り手と売り手、そしてお客さん、それをきっちり守り続けているからこそ、内藤商店にはお客さんが跡絶えないのかも知れません。それは決して特別なものではなく、昔より私達の身近にあったのではないのでしょうか：シュロの小ホウキ
- 「掌」つくりにこだわり真竹と桜の木でつくった倉敷の木工職人、森川雅光さんが作られている鬼おろし。桜材に竹の刃を埋め込んで作られたもの。刃となる竹の向きが絶妙でおろすのが楽しくなる：森川雅光作鬼おろし
- 1880年創業、宮本商行は宮内庁御用達として宮家や迎賓館の晩餐で内外のお客さまのおもてなしをしてきた歴史には、伝統が培ったクラシック感覚と、熟練の職人の手による銀製品としての存在感は今も脈々と生き続けている：銀製品スプーン

- 大工道具に対する愛着とこだわりは良い仕事をする為の職人の魂ともいえるものです。鉋(かんな)や金槌は造作によっても木によっても違います。その技術は職人の技として、また日本の誇れる伝統技術として伝承していかなくてはならない物ではないでしょうか：右から金槌(かなづち)、鉋(かんな)、墨刺(すみさし)
- 日本六古窯の一つに数えられる備前焼を、プロダクトデザイン的な視点から見直し制作した湯のみ：小橋順明作湯のみ
- 1904創立したリタケカンパニー。日本に古来から伝わる陶磁器の技術に加え様々な革新的な技術力、伝統的な感性が融合した作品として高い評価を受け現在では「オールドリタケ」と呼ばれ継承されています：ティセット リタケ
- 伊勢神宮は20年に一度の第62回式年遷宮を終えました。1300年にわたって営々と継承されてきたお祭りを通して、日本人の伝統・文化を次の世代につなげます。これはその際建て替えられた宇治橋の古材で作られました：伊勢神宮の古材
- 明治41年創業、老舗料理道具店「釜浅商店」オリジナル「両手フライパン」(山田工業所は、日本で唯一、打出製法でフライパンを製作する技術を持つ会社です)職人の目で確認しながら鉄を何千回叩き上げて作る打出製法により作られている一生モノです：山田工業所 両手フライパン

最高仕様が標準仕様

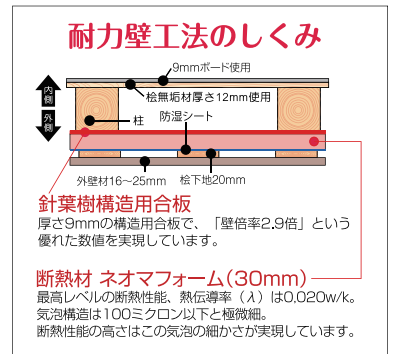


伝統の継承と技術革新

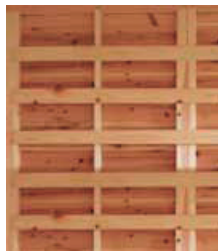
① EH2工法(高断熱工法 + 耐力壁工法) エアコン一台で家中冷暖房



弊社開発のEH2工法(高断熱工法+耐力壁工法)は、省エネ対策等級4の性能を有する工法であることが認定されています。等級4とは、国が定める温暖化抑制基準の最高ランクであり、弊社のような小企業が独自工法で認定されるのは全国的にも極めて稀な例です。国土交通省は2020年までにすべての新築建物に省エネルギー基準への適合を義務付ける方針を正式に決定しました。弊社では1990年後半には高断熱住宅の開発を開始し、標準工法として、既にその条件を満たした家を提供してきました。EH2工法は、その断熱性能の高さから、エアコン一台で家中の冷暖房を可能にするため、冷暖房機器の台数を削減することができ、光熱費の削減、冷暖房機器の購入費を大幅に抑えることができます。



② 更なる強度を実現 木摺工法



日本でも古くからある工法で、家中の壁の下地にバラ板(桧)を貼る工法です。面構造で地震の揺れにも対応。板と板の間に隙間があることで、揺れを吸収して逃します。耐力数値も0.5付加されます。

③ ダクト式熱交換システム PM2.5をガード! より快適な室内環境を目指して

弊社ではダクト式熱交換システムを採用しています。給気・排気ともに機械的に換気を行うシステムのことです。給気フィルターユニットがPM2.5等外気汚染物質の侵入を防ぎ、室温に近づけて導入するため、安全な空気環境と、快適な温度を保つことができます。EH2工法の完成度を更に高める熱交換換気システムです。

④ エアコンの仕事が減らす窓 樹脂サッシ

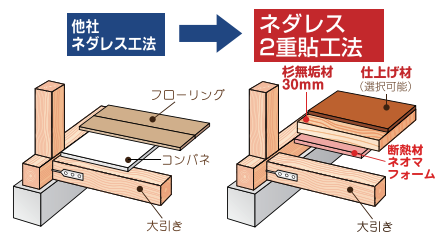


夏、室内へ流れ込む熱の約7割は窓から入ってきます。また、冬に暖房で暖められた熱の約半分は窓から失われます。「部屋の居心地は窓の断熱化で変わる」という理由がここにあります。弊社の採用している樹脂サッシは、国内最高基準の断熱性を誇り、高い省エネ効果を発揮しています。

- 遮熱断熱 Low-E ガラス (アルゴンガス入り)
通常のペアガラスの中間層(空気層)の中には乾燥空気が入っていますが、遮熱断熱 Low-E ガラスに入っているアルゴンガスは、乾燥空気比に1.5倍も熱を伝えにくく、断熱性能が高められます。
- 樹脂だから結露の発生を軽減します
樹脂の熱の伝わりは、アルミの約1,000分の1。室内外の温度差で生じる結露を大幅に軽減します。

⑤ 30mmの杉無垢材仕様のネダレス 2重貼工法

床の下地材に杉無垢材30mmを使用し、更に仕上げ材(選択可能杉・桜・楠などの無垢材。またはフローリング)を貼る2重構造です。杉は日本の風土・気候にも適した素材で、特に調湿性、断熱性に優れています。またしっかりと厚みの杉材を床に敷き詰めることで、水平力の強化にもつながります。



3月に展示会
開催予定。
詳しくはお問い合わせください。

地松を使った
家を建築中



強度の高さから、神社仏閣に使われることが多い地松。近年では希少木材となりつつあります。今回、3間(約6m)放ちのリビングで使用しますが木造住宅では極めて異例な大空間となります。これは曲材の地松の強度と匠の複雑な木組みのなせる技で、その姿は長く日本の「伝統美」として受け継がれることでしょう。施主様のたつての希望は『ストーリーのあるもの創りを長く楽しみたい』とのこと完成は2016年春以降となります。



建築・企画・設計・施工

白川建設

事務所・ギャラリー 新居浜市御蔵町3番29号 TEL (0897) 41-1324
工場 新居浜市上原3丁目6番32号 TEL (0897) 41-1324
建設業登録愛媛県知事(般-24)第12894号 宅地建物業登録愛媛県知事(5)第4106号

http://s-architecture.co.jp/